



病院理念

人にやさしく 信頼される病院

基本方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。
私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
羽咋郡市広域圏事務組合

公立羽咋病院

〒925-8502

石川県羽咋市の場町松崎24番地

TEL (0767) 22-1220

FAX (0767) 22-5598

<https://www.hakuihp.jp/>

急性腹症

— 突然の腹痛は体からの緊急サインです —



腹痛は救急外来を受診する理由の中で最も多い症状の一つです。その中でも、突然強い痛みを伴うものを「急性腹症」と呼びます。原因はさまざまで、便秘による痛みや下痢、自然に改善することが多い急性胃腸炎のような病気から、腸閉塞や虫垂炎、胆嚢炎、憩室炎、尿路疾患など入院や手術が必要な病気まで幅広く含まれます。さらに、大動脈瘤破裂や消化管穿孔など命に関わる緊急疾患は迅速な対応が必要です。まれに悪性腫瘍も腹痛の原因となります。

また、女性では卵巣捻転や子宮外妊娠といった婦人科疾患も急性腹症の原因となります。症状の出方は年齢や性別、基礎疾患によって大きく異なり、ときに典型的な強い痛みを示さないこともあります。特に高齢の方や糖尿病のある方では注意が必要です。

大切なことは「早期発見・早期受診」です。いつもと違う腹痛、だんだん強くなる痛み、吐き気や発熱を伴う腹痛は、体からの大切なサインです。突然の激しい痛みやこれまでに経験のない痛みを感じたら、迷わず受診してください。

急性腹症は誰にでも起こり得る身近な症状ですが、早めの対応がその後の経過を大きく左右します。「もしかして」と思ったら、自己判断せず受診を——それが健康と命を守る第一歩です。

急性腹症は過去のおなかの治療歴が関わっていることがあります。緊急で受診した際、適切に伝えられるように自分自身やご家族のおなかの治療歴を把握しておくことも大事です。

よくある【急性腹症疾患】を3つ、ご紹介します。

- ◆**腸閉塞**：過去の腹部手術歴が主な原因となる“癒着性腸閉塞”、過去に手術をしていなくても小腸が狭い隙間に入り込み通過障害を来す“内ヘルニア”、その中でも小腸間膜（小腸の循環をつかさどる膜状の臓器）が締められることを“絞扼性腸閉塞”と言います。腸閉塞は保存的治療（点滴・絶食で入院）から経鼻胃管留置、イレウス管留置を必要とする場合がありますが、腸管膜が何らかの原因で捻じれ締められ絞扼している場合には早急な手術が必要となるので、可能な限り早い受診が必要です。また、癒着性腸閉塞の場合は、捻じれることは稀ですが、小腸に狭い場所がある事が原因のため食事によって何度も再発することがあります。（餅・ホタルイカ・こんにゃく・キノコ・タケノコ等々、消化の悪い食材が原因となって詰まることがあります）
- ◆**虫垂炎・憩室炎**：心窩部痛から始まり、徐々に右下腹部（あるいは左下腹部）に鈍い痛みを伴うようになり、発熱や食欲不振を伴う場合に疑われます。早期診断・早期治療が必要です。
- ◆**胆嚢炎・胆石発作**：胆のうは、お腹の右上にある小さな袋のような臓器で、食べ物の消化を助ける「胆汁」をためています。胆石は、この胆のうの中にできる“石”のようなものです。小さいうちは症状が出ないことも多いですが、石が動いて胆のうや胆管につまると強い痛みを起こします。これを「胆石発作」といいます。胆石が原因で胆のうに炎症がおこると「胆のう炎」となり、発熱や強い右上腹部の痛み、吐き気などが出ます。ひどい場合は入院して点滴や抗菌薬治療、場合によっては手術が必要になることもあります。

これらの症状を認める場合には遠慮なく外科を受診してください。

外科 医長 甲斐田 大資

日本ヘルニア学会評議員／鼠径部ヘルニア習得医
内視鏡外科学会技術認定医（ヘルニア）

お腹にやさしい消化のよい食事のご紹介

家庭で役立つ情報

消化の負担が少ない食材を選びましょう。タコやイカは消化に時間がかかります。また、きのこやわかめ、ごぼうやこんにゃくなど食物繊維を多く含むものも注意が必要です。食物繊維はからだにとって必要なものですが、摂りすぎると腸をつまらせる原因にもなります。

また、ゆっくりとよく噛むことで消化の負担を減らせます。きちんと噛めるようやわらかく仕上げたり、包丁を入れるなどの工夫をしましょう。

季節ごとに気をつけたいのはホタルイカやタケノコ。秋以降は干し柿も出回りますが丸呑みは厳禁です。そのほか、あぶらを多く含む食品や辛すぎる食べものも胃腸への負担となります。煮物やゆで物を中心に食材の味を残したやさしい味付けで食べましょう。

お肉は脂身の少ないものを選びます。煮物だとあぶらを控えてやわらかく仕上がります。お粥はやわらかく水気も多いため、しんどいときや歯の状態がよくない場合でも噛みやすく消化の負担が少ないです。

栄養科 管理栄養士 山本 一八



◎鶏肉のさっぱり煮



◎カレイの煮付け



◎お粥

糖尿病教室再開



コロナ禍で中断していた糖尿病教室を令和7年7月30日・10月8日に開催しました。教室には「広報を見てきたよ」と言うくださる方もいて、入院患者さんや地域住民の方も多数ご参加くださいました。

宇野医師からは糖尿病の基礎知識について、看護師からは〇×クイズや、糖尿病患者さんに気をつけていただきたいことについてお話しました。健診結果をもとに個別相談をしたり、血糖測定を行って食事や運動についての相談にも応じました。今後も糖尿病教室の開催を予定しており、教室後には「食事の話も聞きたいからまた来るね」とのうれしいお言葉もいただきました。

久しぶりに患者さんと一緒に勉強することができ、私たちも有意義な時間を過ごすことができました。

糖尿病療養指導士 木村 千恵



認知症ケア研修会を開催しました

令和7年8月7日に石川県立こころの病院・石川県認知症疾患医療センター院長 北村立先生をお招きし、「最新の認知症診療について～抗認知症薬、BPSD 治療薬、睡眠薬の話題を中心に～」というテーマで講義していただきました。

2040年には高齢者の3.3人に1人が認知症または軽度認知障害になると見込まれています。認知症があっても安心して利用していただける病院を目指し、今回学んだことを診療やケアに活かしていきたいです。

認知症看護認定看護師／外来主任看護師 四道 昭子



今年も防火訓練



患者移送



消防へ通報



消火訓練

当院では、消防法に基づき毎年防火訓練を実施しております。例年各病棟毎に避難訓練を行っていましたが、今年度は出火元の病棟以外の病棟においても同時に避難訓練を行いました。火元の病棟だけでなく火元以外の病棟においても患者さんの避難誘導の形を改めて確認することができ、例年以上に火災発生を想定した訓練を行うことができました。なお、消火訓練及び通報訓練は例年どおり実施しました。

総務課 主査 俵 圭佑

ようこそ看護ふれあい体験

今年度のふれあい看護体験は6日間行われ、多くの中高生が参加してくれました。手術室では、テレビで目にするような手術器具や无影灯と言われる特殊なライトを実際に触り、手術室看護師業務体験をしてもらいました。手術室という特殊な環境で、患者さんができるだけ不安なく手術を受けられるよう、日頃から看護師が心がけていることとお話しました。参加した中高生からは「手を握ってもらえるとこんなに安心するのですね」という言葉が聞かれました。この体験を通して、将来の進路を考えるきっかけになってくれたら、とてもうれしいです。

中央材料室・手術室 主任看護師 酒井 愛



手術室体験



病棟浴室見学

職場体験

今回、リハビリテーション科へ羽咋中学校の生徒さんが体験に来てくれました。患者さんに寄り添いながらリハビリの様子を真剣に見学している姿がとても印象的でした。熱心に学ぶ姿勢から、医療やリハビリの仕事に対する関心の高さを感じました。体験を通して、医療現場の雰囲気や患者さんとの関わり方に少しでも興味を持ってもらえたら嬉しいです。これからの進路を考える上で、良い経験となることを願っています。

リハビリテーション科 理学療法士 大坪 練也

羽咋中学校



手浴の介助



車イス体験



リハビリテーション見学

羽咋高校



医師

羽咋高校2年生の生徒さんがインターンシップに来られました。慣れない環境で緊張する中とても集中して私たちの言葉に耳を傾け、薬剤師の仕事とは何か・私たちが普段行っている調剤室業務や病棟業務はどんなことをしているのかを学んでいきました。病院薬剤師を希望する薬学生が少なくなっている今、未来を担う学生さんに病院薬剤師の仕事を見学していただけるのは私たちにとっても貴重な体験であると感じています。いつか病院薬剤師として一緒に働くことができたら嬉しいです。

薬剤科 薬剤師 山内 彩椰



病棟看護師



薬剤師



臨床検査技師



放射線技師



言語聴覚士



外来看護師

病院機能評価受審

日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、5回目の認定を受けました。



のと緩和ケア研究会

市民公開講座

2025年 **11月8日(土)** **14:00 ~ 15:30** **参加無料**
(受付 13:30~)

会場: LAKUNA はくい
4F LAKUNA ホール
対象: 一般市民(どなたでも)

講演内容:

1. 『ACP について』
2. 『わたしのきもち』紹介
3. 『事例・・・外出支援をした患者』紹介
4. 『がんサロン』紹介

【お問い合わせ】のと緩和ケア研究会事務局
(金沢医科大学病院 病院管理課)
電話: 076-286-3511 (内線 25063)
mail: kanwa@kanazawa-med.ac.jp

看取りに関する公開講座

参加費
無料

自分のことは自分で決めたい ～「わたしのきもち」を叶える私たちの挑戦～



日時

令和7年12月6日(土)

午後2時～午後4時

場所

羽咋すこやかセンター2階 研修室

申込方法

QRコード・電話 (当日参加OK!)

第1部 好子さんの事例を通して考えてみる
第2部
「今、大切な方へ伝えたい想い」を書いてみよう

《問合せ・申し込み》

羽咋市地域包括ケア推進室

☎0767-22-0202(平日8:30～17:15)



ありがとうございます

- ♥ なぎさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様
- ♥ 写真 羽咋写真協会の皆様
- ♥ 絵画 羽咋美術協会の皆様
- ♥ 書字 羽咋市書道協会の皆様
- ♥ 俳句 宝達志水町若輩会の皆様
- ♥ 園児の絵 こすもす保育園・西北台保育所



テーマ

ロケットをつくろう



テーマ

むし みつけた♪



季節の 写真



コスモスといえば秋の花というイメージがありますが、他の季節でも咲いているところを目にすることがあります。どうやらコスモスには早咲きの品種と遅咲きの品種があり、早咲きの品種では秋以外の季節でも花を咲かせるようです。

文・写真

リハビリテーション科副士長

大西 公亮